

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 20 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25370746

研究課題名(和文)独墺瑞三国における19世紀日本古写真と日本認識素材の復元的研究

研究課題名(英文) A study of the formation of awareness and image of Japan in the 19th century through photographs of the diplomatic missions of the three countries, Prussia, Switzerland, Austria.

研究代表者

谷 昭佳 (TANI, AKIYOSHI)

東京大学・史料編纂所・技術専門職員

研究者番号：70532670

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,900,000円

研究成果の概要(和文)：幕末期から明治初期の日本で撮影され海外に渡った写真は、同時代の西洋人の日本イメージ形成に大きな影響を与えた。

本研究は、出所・伝来の確かな一次史料である写真と関連する文書史料を素材にして、写真(モノ)が内包する技法や装丁の情報、付随する文字情報(テキスト)など、新たに史料学的な観点から行った調査研究により得られた情報をもとに、19世紀の西欧各国の日本認識形成に果たした外交使節団(プロイセン、スイス、オーストリア・ハンガリー帝国)の写真コレクションの成り立ちを解明するものである。

研究成果の概要(英文)：Photographs taken in Japan between the late Edo period and early Meiji period that found their way overseas played a major role in forming Westerners' image of Japan at that time. Drawing on documents and historical materials related to photographs, which are reliable primary sources detailing their origins and lines of transmission, this study seeks to examine the origins of the diplomatic mission photograph collection (Prussia, Switzerland, Austria-Hungarian Empire), which played a role in forming Western nations' awareness of Japan in the 19th century, based on information newly obtained through research conducted from the perspective of historical materials, such as information on techniques and bindings contained in photographs (material) and their accompanying textual information (text).

研究分野：写真史

キーワード：日本史 史料学 古写真史料学 画像保存

### 1. 研究開始当初の背景

幕末・明治初期 = 1860 年代における 3 つの外交使節団が蒐集した伝来の確かなオリジナルコレクションは、ほぼ初めて国内へ紹介されるものであり、高精細デジタル画像の解析はそれ自体大きな意義がある。

また、外交使節団が持ち帰り、西欧社会に提供された日本イメージの作成過程を素材としての写真や画像スクラップ、テキスト史料から復原する研究は、これまでにない独創的な研究である。いわゆる古写真研究の枠組みを超えて、画像研究やテキスト研究とのコラボレーションによって、19 世紀日本認識のイメージがどのように形成されてくるか、この問題に新たな切り口を与えるものとなる。

### 2. 研究の目的

幕末・明治初期 = 1860 年代に日本へ派遣された 3 つの外交使節団 (1860 年プロイセン・オイレンブルグ使節・1863 年スイス・アンペール使節・1869 年オーストリア・ハンガリー帝国の特派使節) が収集した日本関係の古写真 (写真史料)・画像史料を主な研究対象とする。

くわえて出所・伝来が明確で撮影者や撮影状況、入手経路がはっきりするなど、写真史料の基軸標本となりうるコレクションの高精細デジタル画像の収集・撮影と解析による研究資源化を進める。

そのうえで 3 使節団が収集した古写真・画像史料コレクションや、関連するテキスト史料を併せて調査分析し、使節団が帰国後に報告用として作製したアルバムやイラストからなる画像資料集の解析を通じて、19 世紀当時の日本認識を形づくった素材としての古写真・画像史料の復元的な研究を行うことを目的とする。

### 3. 研究の方法

(1) 先行研究での予備調査の経過にしたがって、オーストリア・ブルガー、スイス・アンペール、ドイツ・オイレンブルグのコレクションについて本格化な高精細画像収集のため、出張調査・撮影をおこなう。また同時に、発展的研究として、以下の調査と特殊撮影などをおこなう。

ヌーシャテル民族誌博物館 (アンペールコレクション) が所蔵する古写真 (写真史料) の赤外線撮影をおこない、収集された写真史料・画像史料にある隠された文字についてのデジタル画像を確保する。また同地のアーカイヴズ (州立文書館) でアンペール関連ファイルを調査収集する。

プロイセン枢密文書館において、使節団関係写真のオリジナルプリント表面の顕微鏡撮影と関連文書の史料収集をおこなう。

オーストリア国立図書館において、日本関係のコロジオン湿板写真ガラスネガの状態

(現像色、制作時の指紋痕など) 調査をおこなう。またオーストリア応用美術博物館において、ブルガーが日本で撮影した工芸品などの未整理プリント群の調査をおこなう。

(2) 国内外の基準標本となりうる古写真の補足的調査・収集をおこなう。そのうえで絵画・画像やテキスト研究の専門研究者の協力をえて、史料群の目録化と各使節団の画像による報告・刊行物 (『日本図絵』等) との関係性に関する解析を進める。

### 4. 研究成果

(1) 独瑞澳三国の外交使節団が持ち帰った古写真 (写真史料) のデジタル画像収集・調査

プロイセン枢密文書館において、プロイセン・オイレンブルグ使節団関係古写真 35 点の画像を収集した。またプリント技法解析のための顕微鏡撮影をおこない、179 カットの画像データを収集した。

ヌーシャテル民族誌博物館において、スイス・アンペール使節団関係コレクションの画像を収集すると同時に、赤外線撮影調査をおこない、188 カットの赤外線画像をえた。

ヌーシャテル州文書館において、アンペール関係文書の調査撮影し、154 カットの文書史料画像をえた。

スイス連邦文書館において、アンペール関係古写真アルバムの調査と赤外線撮影をおこない、20 カットの画像データを収集した。

オーストリア国立図書館において、オーストリア・ハンガリー使節団写真家であったヴィルヘルム・ブルガーの写真コレクションについて調査撮影した。研究期間初年度に高精細画像と顕微鏡画像など 307 カットをえた。最終年度に補充調査撮影をおこない、コロジオン湿板写真ガラスネガの現像色や指紋痕などの画像データ 649 カットを収集した。

オーストリア応用美術博物館において、ブルガーが制作した日本関係アルバム、工芸品写真群、関連文書史料の調査をおこなった。

(4) 国内外の基準標本となりうる古写真の補足的調査・収集

〔海外〕

ドイツ：フォン・ブランデンシュタイン家所蔵シーボルト関係古写真史料 (アルバムや手紙類など) の調査・撮影をおこなった。画像データは 2536 カットである。発展的調査として、シーボルト関係古写真の顕微鏡撮影をおこない、80 カットの画像データをえた。

ベルリン国立図書館において、同館所蔵の内田九一関係彩色古写真アルバムの調査をおこない、画像データ 78 カットをえた。

イギリス：ロンドン大学において、幕末期に来日したフランス人士官 Du Pin が撮影し

た写真と手書きの日本見聞記について補充調査をおこない、402カットの画像データをえた。

ヴィクトリア&アルバート博物館において、1868年のフェリーチェ・ベアトが発売したアルバムについて補充調査し、アンペールがスイスに帰国した後に日本から取り寄せたベアト写真について同定した。

その他、大英図書館において、同館所蔵のオーストリア・ハンガリー帝国から献上されたものと推定されるブルガーの日本関係写真について補充調査した。また日露戦争時の英国観戦武官の写真アルバムについて調査した。

フランス：フランス国立図書館において、幕末の第二次遣欧使節団の写真プリントについて調査撮影をおこない、86カットの画像データをえた。

コレージュ・ド・フランス日本学高等研究所において、明治初年来日したフランスの軍事顧問団の歩兵大尉エシュマンが持ち帰った日本関係古写真アルバムについて調査し、通常光撮影 484 カットと赤外線撮影 31 カットをおこなった。

フランス写真アーカイヴスにおいて、幕末の遣欧使節団、明治初年の晋仏戦争観戦団などの写真原板 115 枚の存在を確認し、うち予備調査的に 51 カットを透過光撮影した。

〔国内〕

長崎大学附属図書館において、ボードワンコレクションに含まれている初期のベアトアルバムなどについて調査し、画像データ 629 カットを得てアンペールコレクションとの比較をおこなった。

厚木市郷土資料館において、後期ベアトアルバムの調査撮影をおこない、画像データ 163 カットをえた。

オーストリア国内にあるブルガーコレクションと日本人による湿板写真技術を比較検証するため、江川文庫、横井小楠記念館、鍋島報効会徴古館において、幕末期に制作された湿板写真原板の調査撮影をおこない 87 カットの画像データをえた。

箱館の豪商高田家に伝来した横山松三郎の写真コレクション 81 点の目録を整理した。

(5) 展覧会への協力

スイス・日本友好 150 年記念企画展示「日本を想う」ヌーシャテル民族誌博物館、2014.6.20-2015.4.19、

通商条約締結 150 周年記念「スイス使節団が見た幕末の日本」横浜開港資料館、2014.7.16-2014.10.19、

日独修好 150 年記念企画展示「ドイツと日本を結ぶもの-日独修好 150 年の歴史」国立歴史民俗博物館、2015.7.7-2015.9.6、

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 14 件)

1. 谷昭佳, フェリーチェ・ベアトの幕末明治期写真の年次比定、東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信、査読無、72 巻、2016、20-25、
2. Hoya Toru, Le role de la France dans la reforme de l'armee japonaise a la fin du Bakufu et au debut de la restauration de Meiji, Deux ans au Japon(1876-1878), 査読無、1 巻、2015、501-524、
3. 谷昭佳, モーザー (Moser) コレクション写真について(3)-博覧会関係写真、高橋由一「浴湯図」関係写真、東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信、査読無、71 巻、2015、21-26、
4. Fujiwara Shireo, Les documents illustres de la collection Humbert: classification du corpus selon les sources et catalogue des livres imprimes, Imagine Japan, 査読無、1 巻、2015、156-173、
5. Hoya Toru, Les circonstances politiques japonaises en 1864, annee de Conclusion du Traite d' amitie et de commerce nippon-suisse, Imagine Japan, 査読無、1 巻、2015、46-55、
6. 谷昭佳、幕末のアマチュア写真家たち-幕末期に日本を訪れた外交官・軍人・宣教師、外国人カメラマンが見た幕末日本、査読無、2 巻、2014、74-81、
7. 谷昭佳、中浜(ジョン)万次郎の写真活動とその周辺-江川家旧蔵(江川文庫)古写真を中心にして、土佐史談、査読無、257 巻、2014、62-79、
8. 谷昭佳、下岡蓮杖の最初期写真-在外コレクションを中心にして、東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信、査読無、67 巻、2014、10-15、
9. 谷昭佳、モーザー (Moser) コレクション写真について(2)-ウィーン万国博覧会関係写真、東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信、査読無、65 巻、2014、15-20、
10. 保谷徹、明治初年の回向院境内写真を読む-オーストリア所在古写真調査報告、東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信、査読無、62 巻、2013、9-13、
11. 保谷徹、明治初年の横浜居留地写真を読む-オーストリア所在古写真調査報告、東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信、査読無、63 巻、2013、8-12、
12. 谷昭佳、モーザー (Moser) コレクション写真について(1)-月光写真と内田九一

写真ネガ、東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信、査読無、62巻、2013、19-25、

〔学会発表〕(計3件)

1. 谷昭佳、歴史史料写真の研究資源化-ガラス乾板資料を中心にして-、第4回東アジア史料研究編纂機関国際学術会議、2014年11月12日、韓国国史編纂委員会史料館国際会議室、
2. 谷昭佳、黎明期歴史史料写真の研究資源化-ガラス乾板資料を中心にして-、日本写真学会、2013年5月28日、千葉大学けやき会館、

〔図書〕(計3件)

1. 谷昭佳 保谷徹 他、吉川弘文館、写真集日本近代化へのまなざし 蕪山代官江川家コレクション、2016、185、
2. 谷昭佳 他、韓国国史編纂委員会、東アジア歴史資料の共有のための協力案の模索、2015、618、

〔その他〕

新聞報道

1. 静岡新聞土曜版、2016年4月16日、おすすめ本「写真集日本近代化へのまなざし 蕪山代官江川家コレクション」、
2. 毎日新聞夕刊、2016年3月22日、「蕪山代官江川家の古写真まとめ刊行」、
3. 東京新聞、2016年3月20日、アートな本「写真集日本近代化へのまなざし」、
4. 読売新聞、2016年3月6日、本よみうり堂「写真集日本近代化へのまなざし 蕪山代官江川家コレクション」、
5. 中日新聞、2015年7月24日、「幕末の写真原板をデジタル記録」、
6. 高知新聞夕刊、2015年3月13日、「吉田東洋ジョン万次郎が撮影」、

## 6. 研究組織

(1) 研究代表者

谷 昭佳 (TANI AKIYOSHI)  
東京大学・史料編纂所・技術専門職員  
研究者番号：70532670

(2) 研究分担者

保谷 徹 (HOYA TORU)  
東京大学・史料編纂所・教授  
研究者番号：60195518  
箱石 大 (HAKOISHI HIROSHI)  
東京大学・史料編纂所・准教授  
研究者番号：60251477

(3) 連携研究者

高橋 則英 (TAKAHASHI NORIHIDE)  
日本大学・芸術学部・教授

研究者番号：10188039

田中 里実 (TANAKA SATOMI)

日本大学・芸術学部・准教授

研究者番号：10547102

藤原 重雄 (FUJIWARA SHIGEO)

東京大学・史料編纂所・准教授

研究者番号：40313192

(4) 研究協力者

ペーター・パンツァー (PETER PANTZER)

ボン大学名誉教授

宮田 奈奈 (MIYATA NANA)

オーストリア国立科学アカデミー近現代

史研究所客員研究員

ジュリアン・グローザー (JULIEN GLAUSER)

ヌーシャテル民族学博物館学芸員